



天理教基礎講座



第 586 号
発行所
天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南 8 条西 11 丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail tenrikyo.hk@gmail.com
ホームページ
https://tenrikyohk.com



講座受付の様子

高橋太志講師より基本教理とおぢばがえりの意義についてわかりやすくお伝えいただき、学生や未信者など初めての方 13 名を含む 25 名が受講した。

年祭活動の中、各教会より基礎講座受講を声掛けくださっている成果であることを実感させていただいた。

「受講させて頂いて本当によかったです。心が明るくなりました。」

基礎講座

3 月 19 日 (日) 北海道教務支庁会場にて天理教基礎講座を開催。

教祖 140 年祭

すべて喜び
すべておたすけ
北海道教区

教祖 140 年祭 北海道教区スローガン

前日 18 日には、コロナ禍で延期になっていた、新任係員研修会を開催。11 名が参加した。

最初に教区长挨拶を佐藤元展事務局長が代読、「基礎講座の地方会場は全国の先陣を切った。ここ北海道から開始されました。」また「布教の熱を高める一助としての講座の活用が期待されている。係員皆さんの笑顔

基礎講座係員研修会



講座の合間 ヨガでリフレッシュ

等々、受講者より、講師係員へ笑顔で感想を述べて頂いた。

TENRIKYO
基礎講座
2023 5/7 根室開催
10:00-11:30

今回は 5 月 7 日 (日)
根室市にて午前 10 時より

「担当 桐谷」

その後、今期から取り入れている、ヨガを実際に係員も体験し、今後、基礎講座をどのように広めていくかなどを練り合い有意義な研修会となった。



係員研修会

みおしえ学習会 ファシリテーター研修会 布教部

布教部（内田誠司部長）では、3月3日教務支庁において、「みおしえ学習会」のファシリテーター（進行役）研修会を開催。

現在、本部布教部から「みおしえ学習会」「かがやきプログラム」「にをいがけドリル」と3つのプログラムを提示されているが、その中で、道内では開催が少なかった「みおしえ学習会」とはどのようなものなのか、ファシリテーターとは何の役目をするのかといった理解とスキルを上げてもらうため、このプログラムを開発された向正訓先生をお迎えして研修をしていただいた。



順番に進行役を実践練習



説明を真剣に聴講

「みおしえ学習会」とは、ワークシートとDVDを用いた、ファシリテーターによる演習形式のプログラム。ワークシートに答えていくことで、教えを身近に感じやすくなり、参加者の考えを聞くことで新たな気づきが得られる。現在、「八つのほこりコース」・「十全の守護コース」がある。

ファシリテーターは、プログラムをねらい通りに進めるために、本部講師指導の研修会を受けた後につとめることができる。今回は、道内各地から24名が受講し、全員が修了資格を得た。本部布教二課より任命書をお願いした後、各地で開催される際に認定ファシリテーターとし

て「みおしえ学習会」を進めて行くこととなる。

今後は、ファシリテーターを軸に、北海道教区各支部で「みおしえ学習会」を開催していただけるようお願い致したい。開催希望の支部は教区布教部まで。

（布教部長内田）

支部主任研修会

婦人会

婦人会（奥村とう子主任）では、3月2日、教務支庁にて支部主任研修会を開催した。支部長会議日の午前9時より行われている一手一つお願いづつとめに合わせて全道より30名が集まった。

お願いづつとめ後、会議室に



研修会の様子

移動し開会。教区長先生より

「3年間一所懸命やって、つとめたらつとめただけのことはあるということとは間違いないところであり、充実した気持ちを持って年祭を迎えてほしい。やったら、やっただけのことはありますから」と真柱様が仰せられました。

日常の中には、下向きな心になったり、年祭活動に乘れず勇めないこともあります。そこを心がけ次第でまさに「すべて喜びすべておたすけ」とし、ひながたの実践をさせていきたい。」と挨拶をいただいた。その後の教区主任挨拶では、「婦人会活動方針を我が事と真にお受けして実行させてもらい、その喜びや勇みが周りの人に広がって行く事を楽しみとさせてもらえる事が、年祭活動にも通じる。」と思いを語った。

その後、活動報告と来年度の活動、また決算及び監査報告があった。

続いて新たな活動の27スマイルプロジェクト（ニープロ）について説明。これは委員長が講習会やブロック別母親講座を変化させた形で、自主的に複数



の支部が共に活動する事で、これまでも検討していたもの。研修会は、ニープロの新しい活動に向け、直接顔を合わせて話し合いも和気あいあいと行われ、第一歩を踏み出すことの出来る機会ともなり、有意義な時間となった。

ゲームや自己紹介、支部活動報告でふれあいタイムを終え、和やかなムードの中、交流支部の発表の後、閉会となった。

今後も支部巡回を行い、意見交換をしながら一体感をもって教区婦人会の活動を進められる事を目指している。

信じる道

— 渡島支部長 宮野 養一 —



先日、大教会役員会議の席上で、ある役員さんが「信仰の喜びとは一体何だろう」と発言された。よく聞いてみると近隣の教会になかなか勇めぬ教会長が何人もいる、とのこと。今まで一所懸命勤めてきたつもりであるが、信者は減るし子供たちも跡を継いでくれない、先細りの中、心倒さず歩んできたが、心境は喜べないことの方が大きい、とのことであった。



それを聞いて、信仰の喜びを次代に伝えることの難しさを今更ながら痛感した。縦の伝道は教内の大きな課題である。論議に、「先人はひながたを心の頼りとして懸命に通じ、私たちへとつないで下さった。」と示される。次代へ信仰を引き継いでいくことの覚悟も、この句に改めて意識すべきことであると思った。

「信じる道」或いは「信念」といったものは、人それぞれに持ち得るものがあると思う。ある時の教区視察に同席した折、教区長先生は、教祖を身近に、御存命を意識して日々を過

ごそう、とお話し下された。お道の信仰の核は、教祖御存命の自覚とひながたを辿ることであろうと思う。特にこの三年千日は意識して通るということで皆が心一つに動き出している。「信じる道」はやはり、御存命の教祖がお働き下されていることを片時も忘れずに通ることであろう。

私自身心がけているのは、「感謝の言葉」と「笑顔」である。これがなかなか難しい。特に家族の中では、ついつい癖性が出てしまいい、その都度反省の日々である。また心がけのもう一つは、地域のたすけあい。外に向かつては、ひのきしんの態度を心がけ、内においては、系統問わず、教友同士のつながりを深める手段を講じていければと考えている。

現在、毎月「支部長ねりあい」が開催されている。様々な意見に刺激を受け、ねりあいに提言される種々発言を参考に、同じ地域に住まう教友と共に勇んでこの句を歩みたいと願っている。

定例にをいかけ

布教を志す者の会「やまじこ会」では、3月12日に定例の布教活動を教務支庁周辺で行った。今回、遠方から参加して下



戸別訪問へ (1月)

人が多く、さながら海外のような風情となっている。そうした中で支部でも「ニセコ海外布教」と銘打って布教活動を実施した。

この度の布教には、外国語に堪能な方、海外で生活された方など、支部を越えて賛同して参加して下さった、逢見篤太氏（札幌中南・南札幌分）、野村広司会長（余市・北銀山分）をはじめ13名が参加。（札幌東支部4名）スキーで怪我をされた外国の方に、おさづけを取り次がせてもらうなど、親神様がこの尊い機会をお与え下さった事に感謝させて頂いた。

外国の方々には、いろいろな思想の方もおられ、パンフレットの受け取りを断られる事もある中、全体的に丁寧な受け応えして下さり、心晴れやかに充実感一杯の一日となった。（報告 赤羽誠）

年祭活動 各地の動き

●札幌東支部では、2月23日、ニセコ町にて布教活動を実施。

ニセコ地区は、世界的に雪質の良さを認識されているため多くの外国人観光客が足を運び、移住者も増え続けている。街並みも独特で歩いている方は外国



※詳しくは、ホームページに掲載

立教 186 年 4 月 29 日

全教一斉ひのきしんデー



成人の旬
一手一つにひのきしん
～日々の実践につなげよう～



北海道会場一覧

福祉募金

福祉厚生部では、3月5日、令和4年度の福祉募金寄付活動として、天塩町にある天塩町立特別養護老人ホーム「恵愛荘」に歩行器2台を寄贈した。

当日は施設に五十嵐仁教区福祉厚生部長と寺島貴宗谷支部福祉厚生部長の2名が出向し、天塩町職員2名立ち会いのもと寄付及び記念撮影が行われた。寄付については天塩町が発行する機関紙の中で紹介され、施設より福祉募金に対して感謝状が贈られる。



寺島氏(左) 五十嵐氏(中央)

一手一つお願いづとめ

支部長会議日に教務支庁にて、午前9時より



一手一つお願いづとめ

ふせこみひのきしん

教務支庁にて毎月29日



ふせこみひのきしん



詳細は、HPにて

計報

立教一八六年・令和5年

- 川浦 康男様 2月6日出直 (90歳) 寿部分教会長 (八雲支部)
- 武田 知恵子様 2月15日出直 (93歳) 旭一分教会前会長 (旭川支部)
- 沼田 玲子様 2月20日出直 (71歳) 上久分教会長夫人 (上川支部)
- 井上 洋様 2月26日出直 (89歳) 山越分教会前会長 (八雲支部)

けいじばん

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭選擇式を午前10時より行っています。

◎ホームページでは、教区報に未掲載の記事や投稿いただいた記事も随時掲載しています。また記事の投稿もよろしくお願致します。

北海道教務支庁日誌抄

3月1日	青年会 Meetin' 編集長会議 ようばく一斉活動日 実行委員会会議
2日	一手一つお願いづとめ 支部長会議 支部長ねらい
3日	布教部みおしえ学習会 ファシリテーター研修会
4日	札幌中南支部例会 やまびこ会
12日	春学引率者会議 しらゆき会例会
18日	基礎講座係員研修
19日	基礎講座教務支庁会場
23日	教区長帰本
25日	教区長会議 支部長ねらい 学生会春の学生 おちぼがえり出発 (29日)
26日	本部月次祭選擇式 運営委員会
27日	本部春季霊祭
28日	教区長帰庁
29日	教務支庁ふせこみひのきしん
30日	災救隊スタッフ会議
31日	たすけ推進会議